

プロポーザルにあたっての質問事項

2024/5/1作成
2024/5/13更新

1. ドローンの実証について

番号	質問内容	回答
1	実証の内容とサミットの内容は連携させる必要があるのか	必ずしも連携させる必要はありません。
2	実証やハンドブックについて、発災時、避難時、復興時など様々なフェーズがあると思うが、どのフェーズを想定しているか	市町村に災害時のドローン活用について把握し、実践していただくことを目的としており、そのためには、災害時に想定されるドローンの活用について、すべてのフェーズで網羅していただく必要があると考えています。
3	作成したハンドブックは印刷する必要があるか	ハンドブックについては、電子データで納品いただくこととしており、印刷いただく必要はありません。
4	ウにおいて、フェーズフリーな活用方法を「複数案を検討し、課題と共に整理すること」とあるが、実証ではなく整理し報告するとの認識で良いか。	お見込みのとおり、本項目においては、実証をするのではなく整理いただくという内容となります。その上で、エで示しているとおり、道内で有望と思われる活用方法について実証いただくかたちを想定しています。
5	エ ドローンの実証について、希望数などはあるか。	最低1回は実証を行っていただく必要がありますが、特定の希望数はありません。事業の趣旨を鑑みて、予算の範囲内で、必要かつ効果が高いと思われる回数を行っていただければと思います。

2. 動画の作成について

番号	質問内容	回答
1	作成する動画の主な対象はどこを想定しているか	「ドローンに拓けた北海道」をピーアールするものであり、民間企業の方が主なターゲットになり得ると考えますが、市町村や一般道民を対象とした動画の作成を排除するものではなく、北海道の現状や今後の展開等を想定した上で、効果的な提案を求めるものです。
2	昨年度の実証動画の素材を活用することは可能か	令和4年度、令和5年度に道が行った実証について、動画等の素材提供は可能です。

3. ドローンに関する普及啓発（ドローンサミットの開催）について

番号	質問内容	回答
1	道ではこれまでドローンフォーラムやミライづくりフォーラムといった類似のイベントを行っているが、その際に留意すべき事項などあるか。	ドローンサミットも含め、市町村職員を主なターゲットとしたイベントですが、ドローンも含めたデジタル関係は特に小さな自治体においては兼務などで行われている実態があり、集客に苦戦することが見込まれます。また、イベントにおいては様々なテーマの企画を複数の企業や団体、運営会社等ステークホルダと連携して作り上げる必要があるため、全体趣旨や目的への理解と、相互の協力・柔軟な連携体制が求められます。
2	イ サミットのプログラムの④有識者による講演、⑤自治体や企業等におけるパネルディスカッションに関して、企業名や個人（有識者・専門家）などもあがての提案が必要か。それとも企画として題材やテーマを提示することでも良いか	プログラムの想定に関し、必ずしも企業名や個人を挙げて提案いただく必要はありませんが、テーマとともに想定する講演者などを提案いただくほうが具体的で、イメージが湧きやすい提案になると考えます。
3	サミット内における登壇者などへ旅費謝金の支払いは発生する前提か。発生する場合、支払いにあたっての基準（大学教授等）はあるか。	登壇者の方が辞退しない限り、旅費謝金が必要となると想定しています。金額について、道庁内部の基準はありますが、それに囚われず必要経費を見積もっていただければと思います。

4	カ エクスカーションについて、北海道大学のスマート農業研究教育センターはマストか	ドローンサミットのエクスカーションを検討した際に、北海道らしいものが見せられる場所として同センターの活用が考えられるとして挙げたものであり、その他の提案を排除するものではありません。
5	カ エクスカーションについて、北海道大学のスマート農業研究教育センターへのエクスカーションに関する調整状況や、所要費用は	同センターには視察について内諾いただいておりますが、細かい点まで調整しているものではありません。 受け入れる際の費用負担としては、対応する学生アルバイトを雇う費用が発生しうると言われています。 また、そこまで大きな施設でないので15～20名程度のグループに分けて、施設を回りつつ説明するかたちが想定されるとのことでした。 所要時間としてはコンテンツにも依りますが、1～2時間程度と見込まれます。 また、同センターのほ場を活用して、ドローンのデモンストレーションをすることも可能とのことです。 なお、必要な経費は原則受託者の負担とします。
6	エクスカーションについて、参加者は事前に貴庁で集められるのか。それとも当日来場者または何らかの事前募集などから申し込みさせる想定か	エクスカーションの企画・運営含めて委託するものであり、参加者の募集・集約も委託業務の中に含まれます。
7	エクスカーションについて、移動は受諾者にてバスなどを手配する必要があるか	エクスカーションに必要な経費についても受託者の負担となります。企画提案いただく内容にあわせて、バスを手配すべきかはお判断いただき、バスが必要な場合は、その手配についても受託者で行っていただきます。
8	キ プロモーションについて、ドローンサミットのみでなくミライづくりフォーラム全体の告知との認識で良いか	お見込みのとおり、プロモーションは、ドローンサミットだけでなく、それを含めたミライづくりフォーラムの広報をお願いします。 ※ミライづくりフォーラムは、ドローンサミットも含む各種イベントを統合した大看板として考えていただければと思います。
9	フォーラム全体の広報となると、ドローン文脈以外の情報整理、ビジュアル作成なども受諾者側で制作となるか。それともサミット以外の情報整理・制作は他社で行いつつ、全体の広報展開を提案するという理解か	サミット以外の情報整理はフォーラムの運営事務局でいたします。その情報をもとに、ビジュアル作成も含め、広報を行っていただくことを想定しています。
10	ケ・コで掲げる他イベントとの連携については、具体的には告知のみとの理解で良いか	他のイベントとの連携は、告知部分のほか、ミライづくりフォーラム全体の運営事務局との調整・連携を想定しています。
11	ケ・コで掲げる他イベントとの連携について、具体的なイベント名、規模感等の予定はあるか。その場合事務局としてどの部分を連携及び人員配置することになるか	他の併催イベントについては現在企画調整中であり、確定したものではありませんが、札幌コンベンションセンター内の会議室を活用した少数～200人規模のセミナーや各種参加型ワークショップなどの企画を検討中です。 それらの併催イベントについては、それぞれ独自の実施主体で開催していただくもので、今回の委託業務の中では人力的なサポートをいただくことは考えていません。 一方で、同じ施設内で実施することから、各種の調整は必要になると想定しており、そのための人員稼働や、ミライづくりフォーラム全体の運営会議への参加などは必要と考えています。
12	シ 運営マニュアルについて、ミライづくりフォーラム全体でなく、ドローンサミット部分のみとの理解で良いか	お見込みのとおり、ドローンサミット部分のみとの理解で問題ありません。
13	セ 人員について、総合窓口、受付・誘導は、ドローンサミットを対象とした役割という認識でよいか	お見込みのとおり、ドローンサミット部分のみとの理解で問題ありませんが、ミライづくりフォーラム全体の運営事務局とも連携し、受付等共通機能部分について全体最適を図っていただく必要があります。

14	イベント保険について、フォーラム全体で主催者側でかけるのか。それともサミット単体でも受託者がかけるのか	イベント保険をかける場合、受託者がサミット単体に対してかけていただければと思います。
----	---	--

4. その他

番号	質問内容	回答
1	ハンドブックの納品はpdf等の電子データでよいか	電子データのための納品でよく、紙に印刷したものは不要です。可能であればpptxなど編集可能な形式での納品をお願いしたいと考えています。
2	再委託は可能か	原則として再委託は禁止していますが、以下の要件を満たす場合には例外的に認められます。 ①再委託をすることに合理的な理由があること。 ②主要な部分が再委託する業務の範囲に含まれていないこと。 ③再委託の相手方に対する受託者の総合的な管理・指導が及ぶこと。 ④再委託の相手方の技術的、経済的能力から判断して、契約の履行の確保の支障とならないこと。
3	参加資格について、道庁の入札参加資格を所持していなくても問題ないか	道庁においては、建設工事や物品の購入、情報システムの導入等について、年度ごとに入札参加資格を認定していますが、本プロポーザル公募においては、参加表明書及びその添付資料を持って参加資格を審査し、それにより参加資格を認定します。よって、参加表明時点で何らかの入札参加資格を所持している必要はありません。 (参考) https://www.pref.hokkaido.lg.jp/st/kns/sikaku_m/sikaku_main.html
4	コンソーシアム協定書に付属する書類の分担受注額について、事後変更になることは許容されるか。	コンソーシアム構成員の中で合意が取れれば問題ありません。